一級自動車整備科

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		体懸	美署
科目名	自動車点検整備	時期	45	Ŧ	総時限数	80H

1. 教科の目的

各企業でインターンとして受け入れて頂き、実際の仕事を体験する事で自分に足りない部分を見出だし、学校での実習の元とする。

- 1. インターン1回目
- 2. インターン2回目

\mathcal{O}		一、花曲
∠.	J	口际

実際の現場を知り今後行う実習の為、自分に足りないもの、見習うべき事項をレポートにまとめる。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		体馬	美習
科目名	故障原因探求	時期	45	Ŧ.	総時限数	80H

1. 教科の目的

各企業でインターンとして受け入れて頂き、実際の仕事を体験する事で自分に足りない部分を見出だし、学校での 実習の元とする。

- 1. インターン1回目
- 2. インターン2回目

\circ	云云	可抽	
∠.	壬白	日伝	

実際の現場を知り今後行う実習の為、自分に足りないもの、見習うべき事項をレポートにまとめる。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		体馬	美署
科目名	総合診断	時期	42	Ŧ	総時限数	120H

1. 教科の目的

各企業でインターンとして受け入れて頂き、実際の仕事を体験する事で自分に足りない部分を見出だし、学校での実習の元とする。

- 1. インターン1回目
- 2. インターン2回目
- 3. インターン3回目

\circ	KK KK	口抽
۷.	子白	日际

実際の現場を知り今後行う実習の為、自分に足りないもの、見習うべき事項をレポートにまとめる。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		評值	1)実習
科目名	自動車点検整備	時期	45	Ŧ.	総時限数	300H

1. 教科の目的

インターンにより各々が体験した内容を持ち寄り、スキルアップに繋がる実習を行う。

- 1. 学年全体でのインターン内容の発表会。
- 2. 発表内容に基づいた実習内容の組立及び実習作業。

\circ	元 23	ᄆᄪ
/	73	ᄆᄻᆕ

各々のインターン経験を学校全体で共有し実習の内容に反映する事によりスキルアップを図る。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		評価	1)実習
科目名	故障原因探求	時期	42	Ŧ	総時限数	300H

1. 教科の目的

インターンにより各々が体験した内容を持ち寄り、スキルアップに繋がる実習を行う。

- 1. 学年全体でのインターン内容の発表会。
- 2. 発表内容に基づいた実習内容の組立及び実習作業。

\circ	777 23	ᄆᄪ

各々のインターン経験を学校全体で共有し実習の内容に反映する事によりスキルアップを図る。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。

	2025年度	教科	既要			
区分	実 習	教科	名		評值	1)実習
科目名	総合診断	時期	45	Ŧ.	総時限数	320H

1. 教科の目的

インターンにより各々が体験した内容を持ち寄り、スキルアップに繋がる実習を行う。

- 1. 学年全体でのインターン内容の発表会。
- 2. 発表内容に基づいた実習内容の組立及び実習作業。

\circ	777 23	ᄆᄪ

各々のインターン経験を学校全体で共有し実習の内容に反映する事によりスキルアップを図る。

- 1. 学科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- 2. 教育評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験、進級試験、卒業試験により行う。平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価するために行う。
- 3. 学期末試験の評価は、平常評価を加味し、優(100~90点)、良(89~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)とする。